

wish

前橋市手をつなぐ育成会報

ウィッシュ

ホームページアドレス <http://m-teotunagu.moo.jp/>メールアドレス info@m-teotunagu.moo.jp

携帯TEL 080-7744-4300



○発行所／前橋市手をつなぐ育成会 前橋市東上野町 459-1 前橋市立前橋特別支援学校内 ○発行人／塩崎政江 ○印刷所／マルエー印刷



そうだ、海へ行こう！



今年度の「ゆうあいサークル」の最初は、7年ぶりのバス旅行でした。令和6年9月29日（日）、マイクロバス2台で前橋駅を8時30分に出発し、前橋市立前橋特別支援学校に8時45分、18家族41名とスタッフ7名、合計48名で大洗海岸へ行ってきました。

当日、朝は雨模様でしたが、出発するころには雨もやんで、一日中傘は不用でした。海岸で遊ぶ方、水族館に行った方、マリントワーに行った方、めんたいパークを見学した方、市場で買い物をした方、博物館へ行った方など、家族ごとに楽しみました。暑くも寒くもなく、気持ちのいい旅行になりました。

参加者の声

- 二人で初の遠出はドキドキでしたが、二人だけでチャレンジすることができて良かったです（奥谷さん母）
- 水族館は自分のペースで見ることができてよかった（田嶋さん母）
- 海が楽しかったし、まぐろ丼がおいしかったです（外丸さん）
- 水族館で大きなマンボウ・サメに出会えました。鐘を鳴らせたことが嬉しかったです（高橋さん）
- ペンギンの散歩が、とてもかわいかった（廣瀬さん）
- 生シラス丼を食べ、水族館でチンアナゴなどを見て、お土産をたくさん買いました（星野さん）
- 水族館でカワウソの説明を聞くことができてよかった（阿佐美さん）
- 水族館で階段から落ちてしまい救護室でお世話になりました。でも回転ずしをたくさん食べてご機嫌です（土田さん母）
- イルカ・アシカショーが見られ、帰りの壬生PAでシルバニアファミリーを見られて大満足したようです（西脇さん母）
- 海鮮丼とエビフライを食べ、幕末と明治の博物館に行つて自分も満足でした（村山さん父）
- とっても楽しい一日でした。神社でゆっくりしました。また、みんなどこかへ行きたいですね（中嶋さん父）



「海に行きたいね」という話から実現した今回の旅行。現地では自由行動でしたが、興味関心も行動の仕方もみな違うので、それぞれの方が楽しめたのはよかったと感じました。これからも、皆さんの活動が広がるように考えていきたいです。運転をしてくださった丸山さんと小澤さんに感謝です。



市長への要望書提出



令和6年10月23日、塩崎会長と関口副会長、廣瀬・阿部・前川事務局員は、市役所にて小川市長に対面し、本会会員や関係者から寄せられた思いをまとめた「意見・要望書」（概要下記）を手渡し、その思いを直接お伝えしました。

当日は、吉川教育長、金井指導担当次長、田村障害福祉課長にもご同席いただき、「意見・要望書」の概要説明と、親の立場を代表して、関口、廣瀬、阿部より、自身の経験を踏まえた課題や要望をお伝えし、また教育分野の要望は塩崎会長が、学校現場から寄せられた思いを代理でお伝えしました。

小川市長からは、本会が、日頃から教育委員会や障害福祉課等とも連携を密にして、一緒に諸課題に取り組んでいるので、要望の内容についても日頃から伝えてもらっているが、今回このように、あらためてご本人の言葉で直接聞かせてもらい、一層しっかりと受けとめさせていただいたとのこと。また、教育や福祉の関係者だけでなく、もっと広く一般市民や企業関係者に、障害のある方々のことやその課題について知っていただく取り組みを進めていくことが、課題の改善につながると思うので、そのような障害者理解を促進する活動にも一層力を入れていきたい、との考えを聞かせていただきました。

それぞれの課題は、なかなか市が単独では解消できないようなものも多いですが、今回の行動を通じて、当事者の切なる思いを、市長と共有することができたのは、大変有意義でした。今後も、会員や関係者から寄せられる意見・要望をしっかりと受けとめて、市にお届けする活動を続けていきたいと思えます。



前橋市への「意見・要望」抜粋（令和6年10月23日提出）

1. 地域生活支援拠点（あんしんネット前橋）の充実
2. 大災害等非常時における避難等について、障害のある方々等特別に配慮が必要な方々への対応方針を整備し、その内容等の周知徹底
3. サービスステーション事業充実
4. 移動支援を行える事業所の増設推進
5. グループホーム等生活の場の充実
6. 障害者虐待防止法・差別解消法の周知と人権擁護の取り組みを強化
7. 健康管理のあり方の向上（健康診断等を受けやすくする仕組み等の創設）
8. 障害者福祉に従事する関係者の処遇改善と人材育成（市として独自の追加補助等の取り組み整備）
9. 特別支援教育支援員の幼稚園、小中学校、高等学校への配置の充実
10. 在籍する児童生徒の障害の多様化、重度化へ対応するための特別支援学級の学級編制基準の引き下げ
11. 通級指導教室の設置基準の引き下げについて県への要望強化

※今回提出の「意見・要望書」の全文は本会ホームページに掲載

<https://m-teotunagu.moo.jp/>



ホームページ
QRコード



まえばしインクルーシブスポーツフェスタ2024

9月23日(月)道の駅まえばし赤城で、2回目になる「まえばしインクルーシブスポーツフェスタ」が開催されました。

当日は多くの事業所が休日を振り替えて来てくださり、多くの方が楽しく交流しながら、大人も子供も一緒になってスポーツを楽しみました。年齢、性別、国籍、障害があるかどうかに関わらず、みんなで盛り上がった一日でした。前橋市手をつなぐ育成会の事務局や協力員の皆さん、そして南橋中・富士見中のボランティアの生徒が大活躍でした。皆さん、ありがとうございました。



中学生ボランティアの感想より

(一人一人が素晴らしい感想をたくさん書いてくださいました。一部しか掲載できないのが残念です)

いろいろな障害のある人がいらっしゃるのだと思いました。そして、その家族が理解し愛おしく関わり方をしているのが素晴らしいと思いました。

これまで自分が出会ったことがなかった障害の方たちがたくさんいました。それぞれ事情を抱えていましたが、みんな楽しくゲームをしていて、見ていてすごくうれしかったです。

障害の有無に関わらず皆が平等に何かを楽しむことは、とても大事なことだと感じました。

障害のある人でも楽しめるスポーツがたくさんあり、それは自分がしても楽しいものでした。これからもこんなスポーツが増えていくといいなと思いました。

これから、障害者を見かけたら、普通の人と同じように接して一緒に楽しみたいと思いました。自分も将来、仕事についたら障害者と一緒に助け合いながら、差別などをなくしていきたいです。

障害があるからという理由で話したりするのを拒むのではなく、どうやって楽しく接する事ができるかなと考えることが大事だと感じました。

普段、いろいろな人と触れ合う機会がないので、学校や地域でのイベントでもこのような行事を開催し、いろいろな人同士が触れ合えれば世界が広がると思います。

今後、障害者に関わることがあったら、今日の大人の方の対応を見習って、同じようにできるようになりたいです。

前橋市 障害福祉課
からの情報

まえばし☆みんなのえいがさい ~ インクルーシブシネマフェス2024 ~
R6.12.7(土)~20(金) 前橋シネマハウス
障害者関係の映画や、障害者も観られる「アンパンマン」など もりたくさんです。
詳しくは、二次元コードより前橋市ホームページをご覧ください。



おしゃべり交流会 8月21日(水) 卒業後の未来を考える



中学校卒業後、ほぼ100%が進学している現状です。高校ってどんなところ？どんな特徴があるの？高校にも通級指導教室が始まったそうだけれど、どうしたら通えるの？等々、保護者も先生方も支援者も情報が少なく、悩みも多いでしょう。そこで、県教委特別支援教育課の全面的なご協力をいただき、今回初めて、前橋地域の高等特別支援学校関係者に集まっていただくことができました。

県立前橋高等特別支援学校の本間先生、井上先生

県立しろがね特別支援学校の板谷先生、高橋先生、綿貫先生

群馬大学共同教育学部附属特別支援学校の草処先生

若葉高等学園の和崎先生

県教委特別支援教育課の藤生係長、三島指導主事、百瀬指導主事

群馬ペアレントメンターの会の江原さん

が、それぞれの学校の様子の説明や県としての取組情報などを提供していただきました。後半は、6つのブースに分かれて、参加者が個別に質問ができる時間もありました。

非常に好評だったので、ぜひ来年度も開催してほしいと感じました。



初めての参加 8月31日(土) 生涯学習フェスティバル



市教委生涯学習課からお声がけいただき、初めて生涯学習フェスティバルに参加しました。中央公民館全体が、様々な地域の活動紹介をしており、手をつなぐ育成会もブースを出して啓発活動しました。たくさんの親子連れや地域の役員さんなどに来ていただき、一日中にぎやかでした。

この作品は、6月22日に開催した「スタートフェスタ」で、障害のある方とそうでない方、大人も子供も一緒に描いた一枚の作品です。それを社協の方が額に入れてくださいました。いろいろな方が描いてくださった作品が一つになるということは、これまでなかったように思います。生涯学習フェスティバルでは、そのお披露目をしました。その後、手をつなぐ作品展に飾っています。ぜひご覧ください。



中毛地区A班 知的障害者福祉月間記念行事 9月10日(火) 福祉パレード中毛地区A班



議会中にも関わらず、市長、市議会議長、教育長初め、多くの市議や市の部長、課長に参加していただき、中毛地区A班の集会並びにパレードを行うことができました。今年は若葉高等学園が事務局担当でした。

